

プレガバリンOD錠「明治」を

服用される患者さん及びご家族の方へ

□OD錠25mg



(白色)

□OD錠75mg



(白色)

□OD錠150mg



(白色)

このお薬は水なしで、舌の上で唾液を含ませ舌で軽くつぶして、唾液と一緒に飲むことができます。また、水で飲むこともできます。

決して2回分を一度に飲まないでください。

- 神経の痛みをやわらげるために飲むお薬です。痛みがある時にだけ飲むのではなく、一定期間飲み続けることで、効き目があらわれます。
- このお薬は少しずつ飲む量を増やしていきます。
- 治療には時間がかかることもあります。無理をしない範囲で、身近な目標を立てて、一歩ずつ着実に治療に取り組みましょう。
- 痛みがやわらいできたら、主治医の判断で、お薬の飲む量を少しずつ減らしていき、やめることもあります。

お薬の飲む量や回数は、主治医の指示を守ってください。

次の方はお薬を飲む前に必ず主治医または薬剤師にお知らせください。

- 過去にこのお薬に含まれる成分で、かゆみ、発疹などが出たことがある。
- 腎臓の病気がある、または血液透析を受けている。
- 心臓の病気がある。
- 現在、妊娠中または妊娠している可能性がある、授乳中である。
- 現在、他のお薬(市販薬を含む)を飲んでいる。

<裏面も必ずお読みください>

お薬を服用中の注意

- めまい、眠気、意識消失などがあられ、自動車事故に至った例もありますので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
特に高齢者ではこのような症状により転倒し、骨折などを起こした例もありますので、十分に注意してください。
- 特にお薬の飲む量を増やしたり、長期間飲んでいる場合に体重が増えることがあります。気になる徴候があらわれた場合には、主治医へ相談してください。
- 視力の低下、見えにくい、眼のかすみ、物がたぶって見えるなどの症状があらわれることがありますので、このような症状があらわれた場合には、主治医へ相談してください。
- 急にこのお薬を飲むのをやめると、眠れなくなる、吐き気がする、頭痛、下痢などがあらわれることがありますので、このお薬を飲むのをやめる場合は、主治医の指示のもと、少しずつ飲む量を減らしていきます。主治医の指示なしに、お薬の飲む量を減らしたり、飲むのをやめたりしないでください。
- 誤って多く飲んだ場合は、主治医または薬剤師に相談してください。
- アルコール(飲酒)はこのお薬に影響しますので、注意してください。

その他にも気になることがございましたら、主治医または薬剤師へ相談してください。

医療機関名・連絡先：